

三輪車 エーシート Aseat S

取扱い・組立説明書

●この度はワールドの三輪車をお買い上げいただきありがとうございます。安全に正しく使用していただくために、説明書をよくお読みください。又、この説明書は必ず保管して下さい。

主材質

フレーム・ハンドル・押手パイプ：スチール
 座席・フットサポート・泥除け：ポリプロピレン
 ペダル・ホイールなど
 タイヤ（クッション部）：EVA
 サンシェード生地：ポリエステル
 ※材質の特性上 タイヤからにおいがする事がありますが、風通しの良い場所に保管すると徐々に薄くなります。

対象年齢

1.5才～4才（体重20kgまで）

【商品サイズ】

幅47×奥行89×高さ101cm（押手棒高さ89・95・100cm）

幅47×奥行69×高さ51cm（押手棒取り外し時）

【商品重量】7.2kg



部品内容

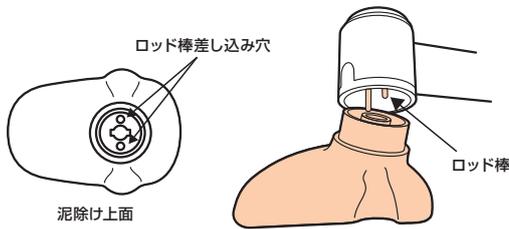
組立前に部品内容を確認してください。

ハンドルセット	泥除け	前輪セット	本体フレームセット	バスケット	サンシェード	カジキリ押手棒
<p>サイクルベル ハンドルカバー ハンドル取付け フック ナイロンネット ネジ</p>					<p>サンシェード</p>	<p>押手ハンドル 高さ調整ネジ</p>
フットサポート	座席 (バケットシート)	袋入りパーツ		取扱説明書(本書)	サンシェードフレーム	<p>押手パイプ 化粧ネジ</p>
	<p>ボルト</p>	<p>●穴なしキャップ ※カジキリ押手棒を外した時に必要です。大切に保管してください。</p> <p>●穴隠しシール</p>	<p>●ボルト：1本 ●樹脂座金：2個 ●化粧ネジ：2個</p>		<p>サンシェードフレーム</p>	

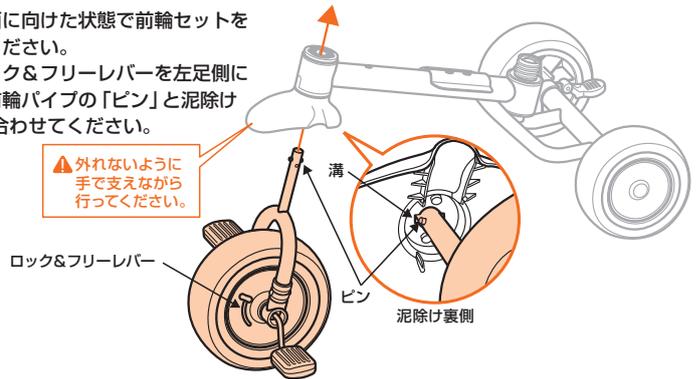
● 押手付き三輪車の組み立て方法

A 前輪セットの取付け

- 1** 泥除けを本体フレームにセットしてください。
※泥除け上部の左右の穴に本体フレーム前側下の2本のロッド棒を差し込んでください。

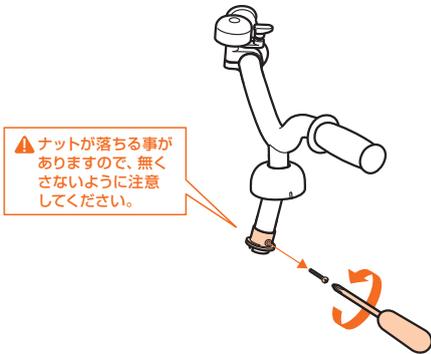


- 2** 泥除けを正面に向けた状態で前輪セットを差し込んでください。
※前輪のロック&フリーレバーを左足側に向けて、前輪パイプの「ピン」と泥除けの「溝」を合わせてください。

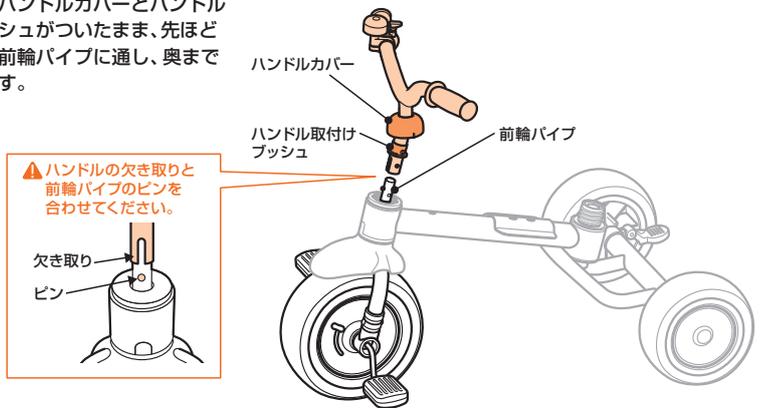


B ハンドルの取付け

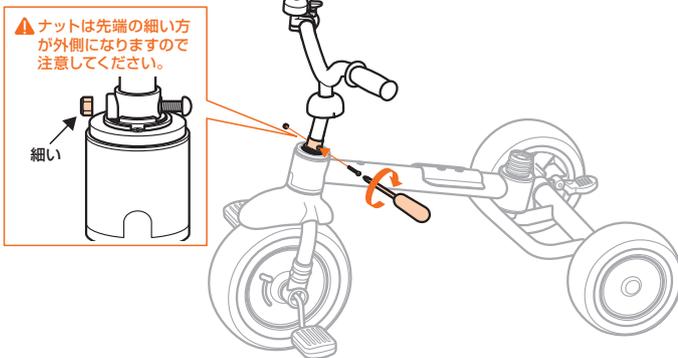
- 1** ハンドル取り付けブッシュのネジをプラスドライバーで外して抜き取ります。



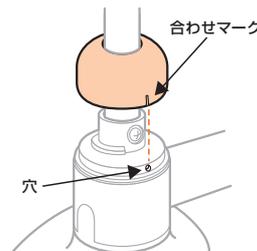
- 2** ハンドルにハンドルカバーとハンドル取り付けブッシュがついたまま、先ほど組み立てた前輪パイプに通し、奥まで差し込みます。



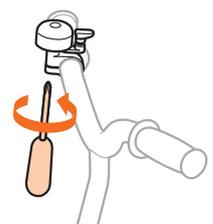
- 3** ハンドルの穴とハンドル取り付けブッシュの穴を合わせ、先ほど外したネジを穴に通し、ネジを締めてください。



- 4** ハンドルカバーの合わせマークをカバー受けの穴位置に合わせ、上からハンドルカバーを押し付けてください。

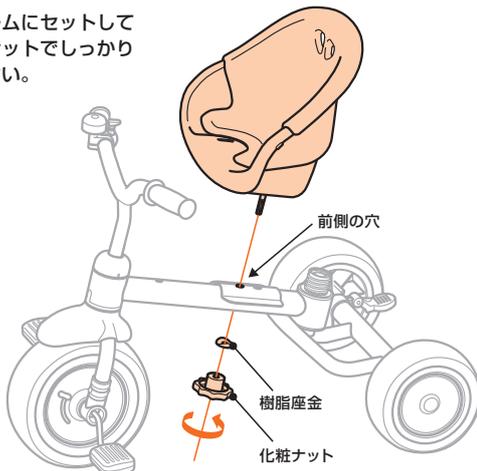


- 5** サイクルベルを締め付けます。ベルの下側からプラスドライバーで締めてください。



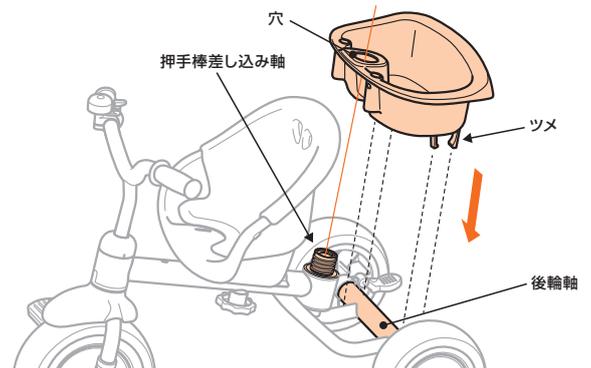
C 座席の取付け

- 1** 座席を本体フレームにセットして樹脂座金と化粧ナットでしっかり締め付けてください。



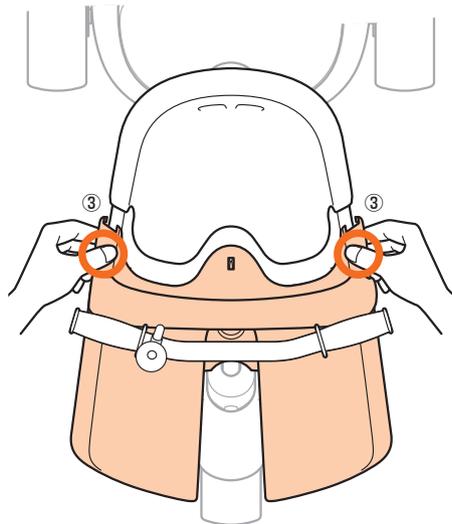
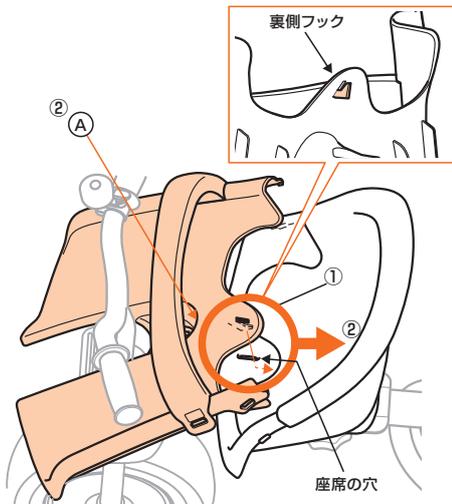
D バスケットの取付け

- 1** バスケットを本体フレームにセットしてください。
押手棒差し込み軸にバスケットの穴を通し、ツメが後輪軸に挟まる位置に合わせてはめ込んでください。



E フットサポートの取付け

- 1** フットサポートを座席にセットしてください。
- ①図を参考に真ん中の裏側フックを座席の穴に差し込んでください。
- ②次に(A)の部分をそのまま矢印の方向に押し、裏側フックを座席の穴に掛けてください。
- ③両サイドの○印部分を指で押し、ツメを掛けてください。

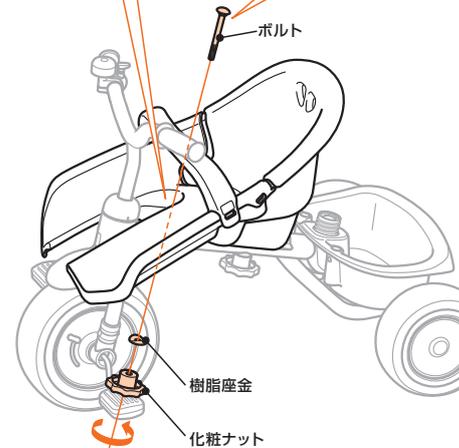


▲ 座席側の凸がフットサポート側の穴に掛かっている事を確認してください。

- 2** ボルトを差し込み、樹脂座金と化粧ナットでしっかりと締め付けてください。

▲ フットサポートの穴と本体フレームの穴を合わせてください。

▲ ボルトの根元は四角になっています。フットサポートの角穴に合わせて差し込んでください。

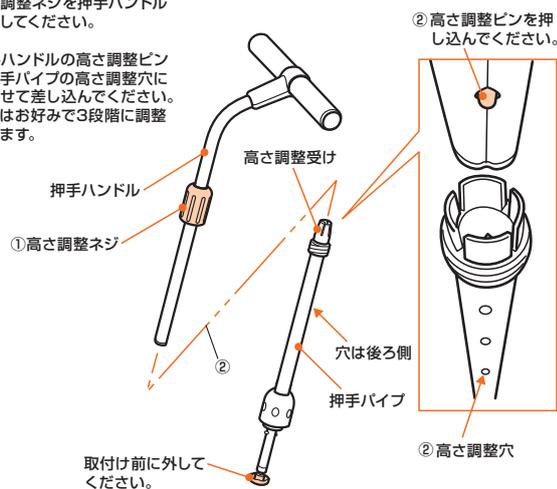


F カジキリ押し棒の取付け

- 1** 押しハンドルを押しパイプに差し込んでください。

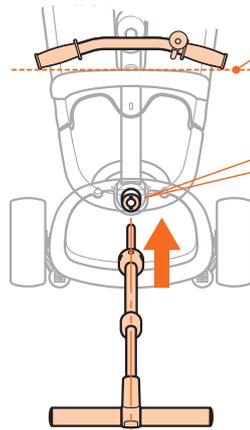
①高さ調整ネジを押しハンドルに通してください。

②押しハンドルの高さ調整ピンを押しパイプの高さ調整穴に合わせて差し込んでください。
※高さは好みで3段階に調整できます。



- 2** カジキリ押し棒を差し込んでキャップを締めてください。

①ハンドルを正面に向けて切り欠きを合わせてください。



②カジキリ押し棒を円の向きに差し込んでください。

③キャップと化粧ネジを締めてください。

G サンシェードの取付け

- 1** サンシェードをサンシェードフレームに差し込んでください。

サンシェード

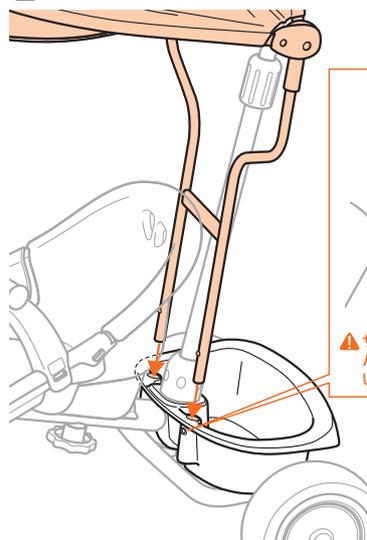
▲ サンシェードフレームの前と向きを合わせてください。

▲ サンシェードフレームのボタンが穴に掛かって抜けない事を確認してください。(左右)

▲ サンシェードフレームには向きがあります。ボタンの出ている方が前です。

サンシェードフレーム

- 2** サンシェードフレームをバスケットに差し込んでください。



▲ サンシェードフレームのボタンがバスケットの穴に掛かって抜けない事を確認してください。(左右)

●保護者の方がコントロールするとき

お子様を乗せる前にご確認ください。

●フットサポートは2才くらいまでを目安にご使用ください。
※ペダルに足が届くようになれば取り外してください。
5ページの[B]フットサポートの取外しを参照下さい。

▲ガード開閉時、回転部でお子様の指などを挟まないように注意してください。

▲座席とフットサポートの取り付け部、ガードの開閉部が確実にとまっている事を確認してください。

●ロック&フリーレバーを「FREE」の位置にしてください。
フットサポートを取り外しても、ペダルを空回りさせて足乗せに出来ます。
※フリー状態で移動中でも足を乗せていない時はペダルと一緒に回転しますが、足を乗せると止まります。

●カジキリ押し棒を押しやすい高さに調整してください。
高さは3段階に調整できます。
調整した後は、高さ調整ネジをしっかりと締めてください。

全てのパーツを取付けた状態

フットサポートを取り外した状態

サンシェードも取り外した状態

▲座席及びフットサポート下側の化粧ナットに緩みがない事を確認してください。

▲ガードやサンシェードを持って三輪車を持ち上げないでください。

●サンシェードの取り外しは5ページの[A]サンシェードの取外しを参照下さい。

ガードの開閉方法

開け方 ガード下側のツバの部分を手前に引いて開けてください。

ここを手前に引く

閉め方 フットサポート側の凸とガードの穴を合わせて「PUSH」部分を押しつけて閉めてください。

フットサポートの凸
ガードの穴

▲確実に掛かっている事を確認してください。

駐車ブレーキの使用方法

ロック ペダルを踏んでください。

踏む

ロック解除 ペダルを戻してください。

上げる

車に乗せたい時 ★商品の折りたたみはできませんが小さくなります。

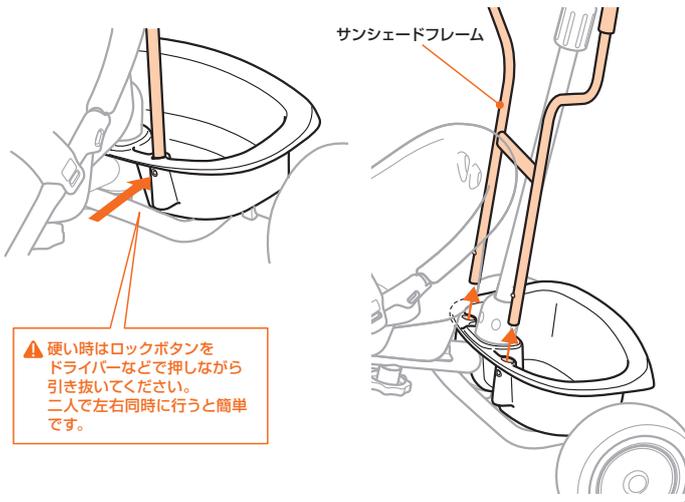
- 1 カジキリ押し棒を取り外してください。
5ページの[C]カジキリ押し棒の取外しを参照ください。
- 2 サンシェードを畳んでサンシェードフレームから取り外してください。
差し口付近のボタンを押しながら引き抜いてください。
- 3 サンシェードフレームはバスケット毎取り外してください。
バスケットを持って上に引き上げると外れます。

● 押手なし三輪車にする場合

下記部品を取り外してください。

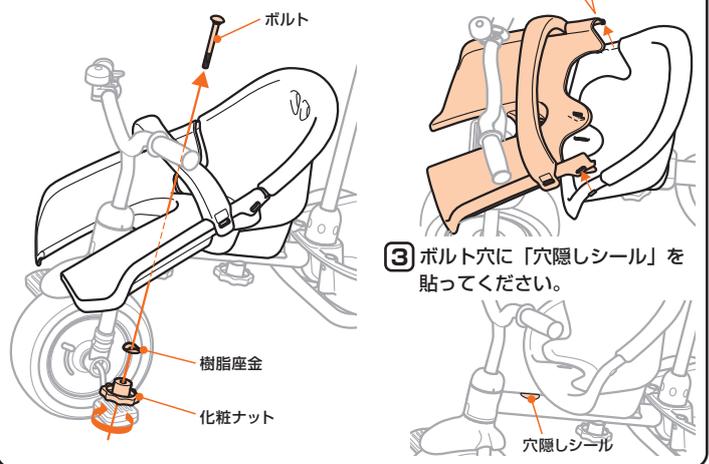
A サンシェードの取外し

- ① ロックボタンを押してサンシェードフレームを上引き抜いてください。



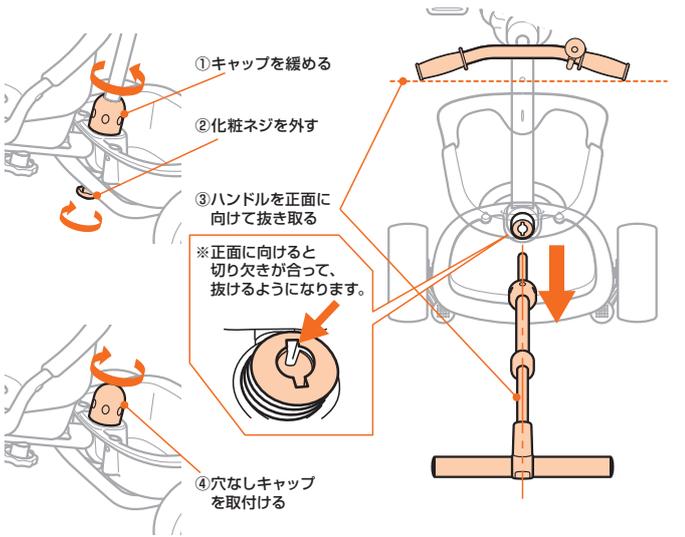
B フットサポートの取外し

- ① 化粧ナットを緩めてボルトを引き抜いてください。
② 両サイドのツメを外してください。



C カジキリ押手棒の取外し

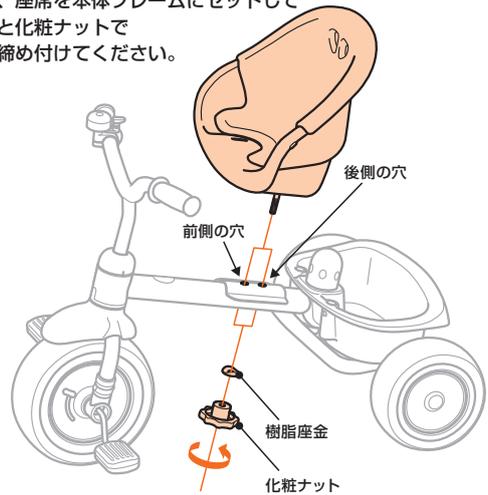
- ① カジキリ押手棒を取り外してください。



D 座席位置の調節

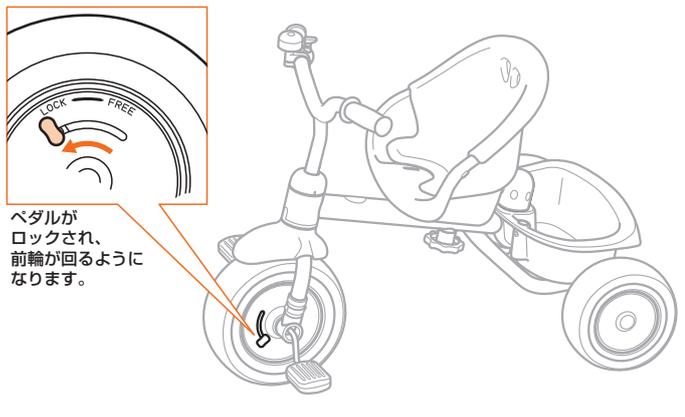
- ① お子様の体格に合わせて、前後どちらかに調節してください。

取付けは、座席を本体フレームにセットして樹脂座金と化粧ナットでしっかり締め付けてください。

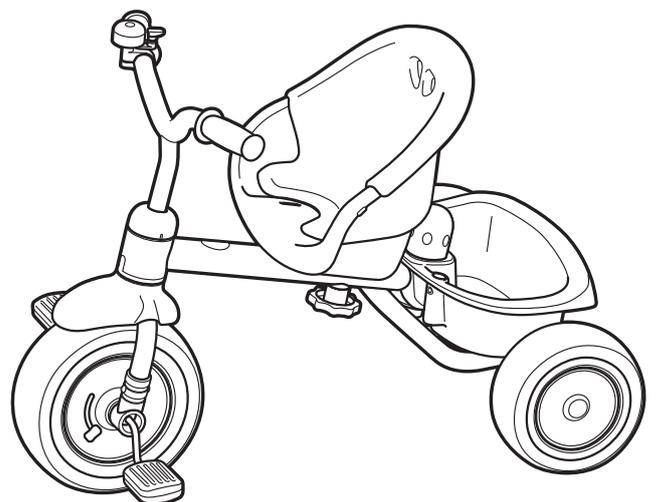


E ペダルのロック

- ① ロック&フリーレバーを「LOCK」の位置にしてください。



押手なし三輪車



お子様を安全に遊ばせるためには、次の使用前の点検と日頃のお手入れが大切です。

《点検》

- 乗車前に、ハンドル・車輪・サドルやペダルにがたつきや、緩みがないことを大人が確かめてください。
- 定期的に、手入れ及び点検を行ってください。

《保管》

- 故障や劣化の原因となりますので、できるだけ直射日光の当たらないところに保管し、雨ざらしにしないでください。
- 濡れた場合は、水気をふき取り陰干ししてください。濡れたまま放置すると色落ちや色移りの原因となります。
- 火気の近くや高温になる場所には置かないでください。

《日頃のお手入れ》

- 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落としてください。
- ひどい汚れは、布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませてぬぐったあと乾いた布でよく拭いてください。
- 油は、前車輪のペダルの軸受け・回転部分、ハンドルの回転部分、並びに後車輪の車軸にのみ家庭用のマシン油が自転車油等を3カ月に1度程度少量注油してください。
- サンシェードが汚れた時は、水を含ませた布でふき取った後、よく乾燥させて使用してください。洗濯すると変形や破損、色落ちの原因となります。
- ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。色落ちの原因となります。



注意

保護者の方へ 必ずお読みになり本書を保管してください。

- 本品は1.5才～4才のお子様を対象にしています。それ以外のお子様および体重20kg以上の方は使用しないでください。
- 組み立ては必ず大人の方が行ってください。小さな部品は誤飲の恐れがあります。お子様が近くにいない状態で行ってください。
- 押し手ハンドルを使用する際は必ず大人が操作を行い、幼児の足が巻き込まれないよう注意してください。
- 押し手ハンドルは、自走できない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実につき自分でこげるようになったら取り外してください。
- 幼児がサドルに立ち上がらないよう注意してください。サドルに立ち上がって押し手ハンドルに寄りかかると三輪車ごと転倒する危険性があります。
- 一人で使用する幼児には、大人が使用上の注意を指導してください。
- 幼児が一人で使用する場合、足が地面及びペダルに確実につくことを確認し、サンシェードを取り外してください。
- 風が強い日はサンシェードを使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- サンシェードに無理な力をかけないでください。
- 安全のため、大人の監視のもとで遊ばせてください。
- 坂道では使用しないでください。
- 二人乗りなど危ない乗り方は絶対にしないでください。
- 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所、階段、火気の近く、濡れた道など危険な場所では使用しないでください。
- 車輪の周囲や回転部に手や足を入れないでください。
- ガードやサンシェードを持って三輪車を持ち上げないでください。
- 改造して使用しないでください。
- 安全のため、破損や変形した状態で使用しないでください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 長期間使用による劣化や破損、ネジ緩みの恐れがあります。ご使用前に点検をして、もし異常がある場合は使用を中止してください。

保証書

品名

三輪車 エーシート SS

ご住所

〒

お名前

電話番号 ()

販売店名

住所

店名

電話番号 ()

保証期間

お買上げ年月日 年 月 日より1年間

保証規定(ほしょうきてい)

1. 正常な使用状態において製造上の不備により故障した場合は、お買上げの日から1年間無料で修理いたします。
 2. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
 - ◆保証書の提示がない場合。
 - ◆使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷の場合。
 - ◆製品の自然劣化・変色。
 - ◆お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷の場合。
 - ◆火災・地震・水害及びその他の天災・地変等による故障及び損傷の場合。
 - ◆本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ◆一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
 - ◆消耗品(タイヤなどの磨耗)
 3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 4. 本保証書にお買上げ店名の捺印・お買上げ月日の記載がない場合は、補償しかねます。
 5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty shall be valid only within Japan.

※故障品の修理を円滑且つ迅速に行うために、修理をご希望の際は、お買上げ店へ持参せず本保証書と製品を必ず下記本社宛へ直接お送りください。その際「修理品」とケースに明記してお送りください。

※製品送付にかかる運賃は、お客様のご負担とさせていただきます。

※保証期間経過後の故障でも有料で修理いたします。
- ご記入頂きました個人情報はこの保証書の目的以外には使用いたしません。

●品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。